

筑紫女学園大学50年の集い 短大から大学へ

同時開催の御案内

「紫友会」会員の皆様こんにちは。
本年はうるう年、オリンピックイヤーです。南米大陸初、ブラジルのリオデジャネイロで開催されます。オリンピック出場権を得る為の戦いも、熾烈な予断を許しません。関わっている全ての人は戦いの真最中、私の許しな観戦者の何と気楽なとこか。我國の選手達の活躍が楽しみです。
そして今年は私達にとってもう一つ記念すべき年となりました。短期大学は五十年の歴史を刻み、新たに大学、大学院へとステップアップ致しました。短期大学五十年、及び来年の学園創立百十周年の「記念事業」として、「紫友会」は母校沿革を記した歴史年表の寄贈を予定しています。皆様への「記念事業」への協力をお願い致します。
今年の総会はいつもと少しスタイルが違います。先ず、大学主催の「筑紫女学園短期大学五十年の集い」短大から大学へ」が開催され、終了後に第四十九回「紫友会総会」懇親パーティ（会食）です。より多くの会員の皆様のご参加をお待ちしています。
「紫友」発信が二万五千人超の方々と繋がっていると思えばワクワクドキドキです。原稿を寄せて下さった皆様、有難うございます。
昨年急逝されました大村前学長の後任として、新学長に上山大蔵先生が就任されました。大学の名称変更に伴い同窓会の名称も「筑紫女学園大学同窓会 紫友会」となります。会員構成、活動内容についてはこれまでと変わりがありません。併せてご報告致します。

母校沿革設置



筑紫女学園大学同窓会
紫友会 会長
石川 昭子



題字 本学園元顧問

故 干潟 龍祥先生書



紫友会事務局

〒818-0192
太宰府市石坂2丁目12-1
筑紫女学園大学内
飛翔会館2F
TEL&FAX (092-929-4603)
〔月～金 10：00～16：00〕
印刷(有)森 田 印刷 所

絶えることなき「筑女の教え」 ～短大から大学へ～



(元) 筑紫女学園大学
短期大学部長
速水 良晃 先生

平成十八年三月末で、創立以来五十年を超す歴史のある筑紫女学園短期大学が閉じました。短大部の学生募集停止の経緯については、「紫友」三十三号に同封した別紙で簡単な説明はしましたが、ちょうど現世の我々が生きるのに必死な時に、去り行くものたちがひびくそりと準備をしているように、その後の状況をお知らせする機会がなく、卒業生の皆様には心配をお掛けしたことを思います。
高宮および太宰府の学び舎から二万五千人を超す卒業生を送り出したきた短期大学の幕を下ろすにあたって、これまで短期大学の学生の教育に尽力いただいた関係教職員への感謝と、一年間を勉学・サークル・社会活動などの目標に向かって生懸命頑張った卒業生の皆さへの称讃の意を表すとともに、この短期大学の隆盛によって支えられた筑紫女学園の教育の流れが、これからも絶えることなく大学（これまでの卒業生数は約万人）や大学院へ引き継がれ、拡張・発展していることを、ご報告いたします。
百十周年を来年に控えた筑紫女学園として、この短期大学閉学という少子化の時代における重大な転換点を迎えるにあたって、旧・現教職員と卒業生が、堂に会する機会を設けることが必要であろうと考え、紫友会の全面的な協力を頂き、六月十日の太宰府ギンパでの紫友会総会に併せて「筑紫女学園短期大学五十年の集い」短大から大学へ」を開催する運びとなりました。多くの卒業生に、参加いただければ、ありがたいです。
【四月より現代社会学部・現代社会学科 教授】

第49回紫友会総会御案内

日 時／6月11日(土) 【受付開始10：30～】

場 所／筑紫女学園大学 飛翔会館
太宰府市石坂2-12-1
3Fスクウェアティホール・1F学生ホール

会 費／3,000円 新卒会員1,000円

◇筑紫女学園短期大学50年の集い◇
11：00～12：00

第一部／総 会 12：30～13：00
会計報告・事業報告・その他

第二部／懇親パーティ 会食 13：20～15：00

- ◆当日は学内見学が可能です。(10時～16時)
- ◆西鉄電車ご利用の方は10時から16時まで西鉄太宰府駅よりスクールバスを運行しますので、ご利用ください。

●締切日(5/31)以降の申し込みおよび変更は紫友会迄
(TEL&FAX092-929-4603)
出席申込を頂いた方で当日連絡なく欠席の場合は、恐れ入りますが後日紫友会宛に会費をお振込み下さい。

■振込先
金融機関:ゆうちょ銀行
店 名:一七九(イチナナキュウ)
店 番:179
預金種目:当座預金
口座番号:0044769
口座名義:筑紫女学園大学同窓会紫友会

出席予定の先生方(敬称略) 3月末現在の出席予定

学 長	上山 大峻	副 学 長	中川 正法
文 学 部 長	時里 奉明		
現 教 員	松下 博文 一ノ瀬元史 小林 知美 荒巻 龍也 高山百合子 吉川 暢子	石井 康仁 田口 純 浅田 淳一 佐々木 浩 Surender Kumar	中村テーマ 竹熊 真波 速水 良晃 藤原 隆信 大霧 香
旧 教 職 員	名本 幹雄 戸崎 宏正 恵利 勝縁 塚本 桂子 西村 陽子	國枝 鑛造 石橋美恵子 戸丸 敦子 林 幹男 秦 惟人	橘 英哲 松田 昌子 武谷恵美子 佐伯 蓉子 魯 相學

*今回当番幹事は短大29、49、50回生、大学文学部4、24、25回生、大学人間科学部1、2回生、大学院7、8期生です。
*当日お車で越しの方は、学内に駐車できます。

紫友会事務局だより

■ 第48回紫友会総会報告

第48回紫友会総会は6月21日(日)ホテルオークラ福岡に於いて盛大に開催されました。今年も梅雨の晴れ間に恵まれ、たくさんの同窓生や同窓教員の皆様が各地より参集頂きました。

第一部の総会では、前年度活動報告や会計報告、また、今年度活動計画及び予算案など各議案が承認されました。

第二部は筑紫女学園大学名誉教授、橘英哲先生による講演「思い出片々」。短期大学開学当初のエピソードを交えながらの興味

深いお話など久しぶりの先生の講義は卒業生にとって有意義な時間となりました。

第三部は懇親パーティ。着席での美味しいコース料理をゆっくりと堪能しながら、なつかしい先生、同窓生との楽しい一時を過ごしました。

来年、再来年も沢山の同窓生が笑顔で再会出来ることを願いながら第48回紫友会総会は盛会にて終了しました。

●総会議決内容

◎第一号議案

平成26年度活動報告及び
平成27年度活動予定

◎第二号議案

平成26年度会計報告及び
平成27年度予算



講演者 橘 英哲先生



総会 全体の様子

☆協力費及び奨学金・奨励金基金協力をお願い☆

紫友会では毎年、協力費(同窓会活動運営費)及び奨学金・奨励金基金(在学生支援の一環)への協力金としていずれも1口1,000円(何口でも可)をお願いしております。これらは同窓会としての安定した会の運営や在学生支援の為に大いに活用されております。ぜひとも皆様方のお力添えを賜りたく、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

協力費及び奨学金・奨励金基金協力は

次の2通りの方法で随時受け付けております。

① 同封の振替用紙にて郵便振替

他銀行からのお振込の場合⇒金融機関名: ゆうちょ銀行
店名: 一七九(イチナナキュウ) 店番: 179
預金種目: 当座預金 口座番号: 0 044769
加入者名: 筑紫女学園大学同窓会紫友会

② 総会会場又は紫友会事務局にて受付
前回ご協力いただいた皆様に紙上をもってお礼申し上げます。なお、電話によるご協力の依頼は行っておりません。

※6面に関連記事

■ 同窓会をしませんか

総会に併せて、クラス会やサークルの OG 会、ゼミ同期会などを開きませんか?紙面を利用して呼びかけるなど、紫友会事務局がお手伝い致します。ご利用頂き、紫友会会員相互の親睦が深まることを期待しています。ご希望がありましたら、事務局までご相談ください。

■ 当番幹事について

平成29年、第50回紫友会総会の当番幹事は下記の方々です。

- 1996年卒 短大30回生
大学 5回生
- 2016年卒 短大50回生
大学文学部25回生
人間科学部2回生
大学院8期生

●2017年卒 新卒幹事
事務局よりご案内のハガキを送付致しますので幹事会にご出席頂きますようお願い致します。

■ 【筑紫女学園報】送付について

学園発行の学園報は大学だけでなく、学園全体の様子をお伝えしているものです。紫友会では学園報を希望される方にお配りしたいと思います。角2封筒(33×24cm 位)に送付先の郵便番号・住所・お名前をご記入の上、140円切手を貼って、紫友会事務局までご送付下さい。最新号をお送り致します。

又は学園ホームページでもご覧頂けます。

<http://www.chikushi.ac.jp/gakuenhou/>

■ 役員紹介(平成27年度)

会 長	石川 昭子	家政 2
副会長	伊佐 元子	家政 1
〃	武田 陽子	幼教 28
会 計	仲野 抄子	日文 21
〃	山川 有希	英語 19
書 記	酒井由美子	心理 15
常任幹事	加藤 千代	家政 2
〃	森山 クミ子	家政 2
〃	阿部 美樹	家政 30
〃	土谷裕紀子	英語 23
〃	矢幡 聡子	家政 24
〃	安田 香織	家政 20
会計監査	藤尾 知子	家政 13
〃	鈴木 萌子	家政 24

があと
あることにとっても感謝しています。多くの卒業生に支えられ今日号のテーマ「私と母校とのかかわり」。私にとて学びや出逢い、ご縁は何事にも代えがたいものです。今年も六月に総会を開催いたします。ぜひ多くの方々に足をお運びいただき、恩師の先生方、ご友人と懐かしいひと時をお過ごし頂ければ幸いです。

学園創立110周年 短期大学開学50周年 記念事業

明治40年 筑紫女学園 創立。
昭和40年 短期大学開学。
短期大学部は50年の時を経て次のステージへステップアップすることとなりました。
紫友会では「学園創立110周年記念事業」「開学50周年記念事業」として、誰もが学内で閲覧できるような大学歴史年表等の設置を予定しております。
皆様に「記念事業」へご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。
受け付け方法は、「協力費及び奨学金・奨励金基金」と同じく同封の振込用紙をご利用下さい。

紫友会会計報告

——平成26年度決算【一般会計】——

自：平成26年4月1日 至：平成27年3月31日

摘 要	
【収入の部】	決算額
前年度繰越金	27,470,301
入会会費 (10,000×815名)	8,150,000
協力費 (282件)	535,901
預金利息	4,847
雑収入	223,000
合 計	36,384,049

【支出の部】	決算額
総会費	1,296,551
印刷製本費	1,126,551
通信費	1,716,116
支払手数料	37,238
会議費	394,864
事務経費	1,843,520
アルバム代	16,000
入学記念品費	300,672
備品費	0
慶弔費	187,400
消耗品費	46,848
雑費	28,526
奨学金基金へ繰出	1,000,000
特別会計へ繰出	1,000,000
特別会計へ繰出 (大学開学50周年事業)	1,000,000
次年度繰越金	26,389,763
合 計	36,384,049

——平成26年度決算【特別会計】——

自：平成26年4月1日 至：平成27年3月31日

摘 要	
【収入の部】	決算額
前年度繰越金	6,308,385
一般会計より繰入	1,000,000
一般会計より繰入 (大学開学50周年事業)	1,000,000
預金利息	1,248
合 計	8,309,633

【支出の部】	決算額
在学生就職活動支援	1,000,162
次年度繰越金	7,309,471
合 計	8,309,633

——平成26年度決算【奨学・奨励金基金】——

自：平成26年4月1日 至：平成27年3月31日

摘 要	
【収入の部】	決算額
前年度繰越金	11,846,518
一般会計より繰入	1,000,000
奨学金・奨励金基金 (122件)	241,000
預金利息	2,218
合 計	13,089,736
【支出の部】	決算額
紫友会学生支援奨学金・奨励金給付	800,432
次年度繰越金	12,289,304
合 計	13,089,736



こんにちは 私と母校とのかかわり ～創立110周年に向けて～

見えないタスキ？

■文学部・日本語・日本文学科
教授 時里 奉明 先生



私は冬が到来すると、よく駅伝やマラソンを見ます。とくに毎年十二月に開催される全国高校駅伝を見るのが楽しみです、これが終わると年末だなという気になります。

女子の高校駅伝は一九八八年に始まりました。それまでは男子だけだったのです。今の体型と心持ちからはちよつと想像できませんが、私は中学、高校、大学と、陸上

私と筑女とのかかわり

■文学部・アジア文化学科
教授 竹熊 真波 先生



筑紫女学園大学中等教職課程専任教員として本学に着任し、四年目となりました。アジア文化学科の先生方は、国籍、研究分野、対象地域など多種多様な個性で、学科会議ではいつも多くの刺激を受けております。この間、中国南開大学への語学研修の引率、マレーシア理科大学との交流協定の締結などに関わる機会も頂くことができ、大変勉強になりました。

で中長距離を走り、たびたび駅伝に出ていました。駅伝好きはこれからですね。
そんな私が女子の第一回に出場するのはどこだろうと注目していたところ、それが筑紫女学園でした。惜しくも優勝はなりませんが、見事なレースだったのを覚えております。それから筑紫女学園は全国の常連になり、私の応援にも熱が入るようになったのは言うまでもありません。

「母校」という言葉にはいつも重みを感じる。そもそも日本語には「母」を頭に持つ、似たような表現は他にもいくつが存在する。「母語」、「母国」、「母艦」、等。少々浅はかではあるが、自身の持つている知識に頼るならば、これらはいずれも英語の翻訳から生まれたものであろう。ただ、たとえそれが翻訳によるものであろうとも、「母」という言葉の持つ意味の重さは何

石坂抒情―私が伝えたこと―

■人間科学部 人間科学科・人間関係専攻
教授 小川 直樹 先生

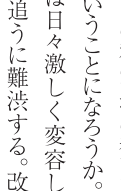


戦後七十一年の年が明けた。戦後と同年生の私にはことさら振り返りの機会が多い。これまでのゼミや演習の討議を通じた講義の余白で、何を伝えてきたのか。それは次の三つであつたように思う。一つは広く知識を世界に求めたい。情報新聞をまめに常に比べながら読む目と行動を養いたい。二つは憲法の意味と価値を暮らしの中で考える。立憲主義の意義と歴史を述べ

ら変わるところはないと思う。つまり「母校」とは文字通り「自分が人間らしく成長するために母親のように養ってくれた学び舎」である。私たちにとって一番基本となる生活の場が家庭であることはいうまでもない。ただ、家庭という生活環境だけで人間の成長が成就されるというわけでも、もちろんない。そうした意味で、誰の心にも存在している「母校」はその節目ごとに私たちをさまざまな形で養ってくれたはずである。本学園の卒業生にとって、筑女がいつまでも大切な「母校」であり続けるよう願うばかりである。

きつかけはいつもここからで

■文学部・英語学科
二十回生(二〇一一年卒) 緒方 麻里



卒業して数年の歳月が過ぎた今もなお、筑女は私にとって、誇れる母校です。
現在の仕事柄、子どもたちの前で学生時代の話をすることが多いのですが、改めて振り返ったとき、きつかけはいつも筑女でした。
当時、「学生スタッフ」のリーダーという立場に立ち、互いに本音でぶつかることの大切さを感じ、異なる意見をまとめることの難しさを知ることができた。三つは選挙には必ず参加すること。卒業式の当日にはまとめて伝えたことである。ところで、これからの私の三つの養いたいものはどういふことになろうか。いまや時代は日々激しく変容して、全体像を追うに難渋する。改革が起り、戦略、競争、効率への態様に否応もなしに迫られる。その潮流を超えて、先人は流行不易といふことを教えている。学園通りのかえり道、仏光石庭、一滴海の庭をめぐる。苔の群青を眺めながらこの羅盤と画板の立ち位置を見定めている次第。それでは「紫友」のみならず御機嫌よう、さようなら。
【三月三十一日をもって退職されました】

卒業生に期待すること
■人間科学部 人間科学科・人間関係専攻
准教授 一木 信治 先生

■OBの経験で母校に恩返し
■大学院・人間科学研究科
五期生(二〇一三年卒) 真由美

私は、まだ現役の筑女生であるかのように母校を身近に感じている。五十二歳で大学院を修了した直後に娘が入学したおかげで学園の話題は尽きない。しかし、時が経つと母校の敷居が高く感じられて寂しいという声もある。

米国の大学に入学した甥から面接試験の様子を聞き、大学OBが面接官として活躍していることを知った。大学の教授や職員では

面、人と人が直接対話して意思を伝えあうことの大切さを改めて実感する時代になったことも確かです。

卒業生は、これから多くの子ども達や保護者、先生方との関わりの中で、自らが人と繋がる醍醐味を味わうことになるでしょう。その長い教育の営みを通して、幼い子どもたちに生活や学びの基礎を教えると共に、人と繋がることの喜びを教えることのできる先生になつて欲しいと願っています。

その奈良で卒業後三十年の記念大同窓会がありました。前日には、興福寺にほど近い猿沢の池のほとりのホテルにて学科同窓会をし、「変わらないねえ」の声と思ひ出話が飛び交いました。翌朝は早

起きして東大寺まで散策し、茶粥の朝食を頂いたら、元興寺までぶらぶらと歩きました。平城遷都一三〇〇年記念事業を経て、まちは随分と様変わりし、ひっそりと佇んでいた古寺は観光客向けの親切的な説明とともによそゆきの顔を見せていました。一方、懐かしい回転饅頭屋さんはお店の場所は変わつても相変わらずの頑固ぶりらしく、沢山の「変わらないねえ」を見つけて嬉しくなりました。

大宰府にも筑女にも「変わらないねえ」があります。毎月二十五日には参道でヨモギ入りの梅が枝餅が販売されています。

たまには母校に「お帰りなさいませ」。

保育者の短大から大学での養成へ「本化」
■短期大学部・幼児教育科
准教授 山之内 輝美 先生

短期大学部幼児教育科はこの三月で閉じることとなりました。二年間を精一杯学んで果立つていった学生達の涙刺とした表情が思い出されます。昨年の最終学年学生の実習先の保育所や幼稚園等への訪問指導では卒業生の実習指導担当や主任等の先輩達から、幼教はなくなるのですね、寂しくなります。等の言葉、短大での養成から大学での養成へ「本化する母校への励ましや期待の言葉を多くかけてもらいました。最終学年学生もハードなカリキュラムの中で、専門職へ向け切磋琢磨しながら学び、保育幼児教育

の現場へ飛び立っていきました。旧幼児教育科の教員は全員が四月から大学に移籍します。大学の人間科学部人間形成専攻でも、保育士幼稚園教諭小学校教諭の専門職を目指し生き生きとした目の学生達が入学してきています。これから更に大学一年生から四年生、在学生と短大大学の卒業生が専門職や人としてつながり高めあえる取り組みを考えていきたいと思っています。

【四月より人間科学部・人間科学科人間形成専攻 准教授】

私は、まだ現役の筑女生であるかのように母校を身近に感じている。五十二歳で大学院を修了した直後に娘が入学したおかげで学園の話題は尽きない。しかし、時が経つと母校の敷居が高く感じられて寂しいという声もある。

米国の大学に入学した甥から面接試験の様子を聞き、大学OBが面接官として活躍していることを知った。大学の教授や職員では

母校を思う気持ち
■文学部・日本語・日本文学科
二回生(一九九三年卒) 小野 泰津子

毎年、若葉の季節を過ぎた頃に届く紫友のお便りを楽しみに待っています。今回、有難い機会を頂き、紫友の原稿のご依頼をお受けすることに、懐かしい大学時代に思いを馳せることができました。当時は気付くことができませんでしたが本当にたくさんの人に支えられて学生生活を送れていたのだと改めて感謝の気持ちでいっぱい。私と母校とのかかわり、

それは―母校を思う気持ち―へと変わってきましたが、その気持ちは卒業してから、より強くなりました。先生方、先輩方、同窓生、後輩のみなさんが、お元気ですますご活躍されているのを紫友で拝見する度、その思いをいっそう深めています。母校を巣立ち離れても、筑紫女学園大学が、変わらずに母校のままの存在で在り続けて下さるということは、大きな心のよりどころとなっています。青春時代の四年間を筑紫女学園大学で過ごさせて頂いた者一人として、母校のますますの発展を影ながら願っております。

きつかけはいつもここからで
■文学部・英語学科
二十回生(二〇一一年卒) 緒方 麻里

卒業して数年の歳月が過ぎた今もなお、筑女は私にとって、誇れる母校です。
現在の仕事柄、子どもたちの前で学生時代の話をすることが多いのですが、改めて振り返ったとき、きつかけはいつも筑女でした。
当時、「学生スタッフ」のリーダーという立場に立ち、互いに本音でぶつかることの大切さを感じ、異なる意見をまとめることの難しさを知ることができた。三つは選挙には必ず参加すること。卒業式の当日にはまとめて伝えたことである。ところで、これからの私の三つの養いたいものはどういふことになろうか。いまや時代は日々激しく変容して、全体像を追うに難渋する。改革が起り、戦略、競争、効率への態様に否応もなしに迫られる。その潮流を超えて、先人は流行不易といふことを教えている。学園通りのかえり道、仏光石庭、一滴海の庭をめぐる。苔の群青を眺めながらこの羅盤と画板の立ち位置を見定めている次第。それでは「紫友」のみならず御機嫌よう、さようなら。
【三月三十一日をもって退職されました】

り、そして何よりの収穫は、リーダーとは縁の下を支えがあつて初めて成り立つものだと思付けたことでした。また、私が英語学科で少しだけ褒めてもらえたのは、「教えて」と頼ってくれる多くの仲間のお蔭でした。

筑女時代の数々の経験を苗として、我が人生の「きつかけ」となり、茎として今に繋げてくれていきます。まずは三年後、教室長として自分の校舎を持つことが夢です。「努力の天才になれば、叶わない夢などない」という生徒の言葉を自身に叫びながら、筑女で与えられたきつかけの苗を、まだまだのばし続けます。

一期一会

■文学部・英語メディア学科
二十回生(二〇三年卒) 島田 紗由美



日本には、およそ八百校もの大学があるそうです。その中から自分に合った大学を見つける…なんと困難なことでしょう。しかしながら、私は筑女に出会うことができました。出会って八年、卒業して四年が経つ今、母校とのかかわりを考えて浮かんだのは、出会えた方々の「笑顔」でした。

私は高校時代、「大学＝孤独」をイメージしていました。しかし、

私と母校とのかかわり

■人間学部 人間科学科 人間形成専攻
一回生(二〇五年卒) 長谷川 恭子



私は、幼い頃から保育士になることが夢でしたが、まさか本当にこの道に進むと思っていませんでした。しかし、この大学のこの学部に進学することが決まり、専門的なことを学んでいくうちに、本当に自分が保育士になるのだという実感が湧いてきました。授業で学び実習へ行って、悩んだり凹んだりすることもありましたが、大学の先生方がたくさん相談につけてくださり、勇気

私の母校とのかかわり

■文学部・アジア文化学科
二王回生(二〇三年卒) 栗利 由利奈坂極



高校の時にマレーシアにホームステイをしたことがきっかけで、アジアの国々に関心を持ちました。特にマレーシアのことをもっと勉強したいという思いがあり、アジア文化学科に入学しました。大学で学び、情報メディアセンターでの授業アシスタントなどの経験を通して自分を見つめることができたのではないかと思います。

社会人になって三年目、現在情報通信関連会社の総務部門で働いていま

紫友会総会に出席して

■短期大学・国文科
九回生(九七年卒) 森 直美岡



私は昨年六月、初めて紫友会総会に出席しました。卒業してから四十年、友人との連絡もとれず、ひとりで不安でしたが講演が橋英哲先生の「思い出片々」というのを案内で見ながらその魅力に勝てず、出席しようと思った。私は先生の授業を度々受けていて、お話を聞いているうちにすっかり学生時代に帰ってしまい、高宮校舎での授業の中にいました。黒板の真ん中に書かれた「無

私と母校とのかかわり

■文学部・人間福祉学科
十回生(二〇六年卒) 大池 真由子佐竹



高校生のときに吹奏楽部で特別支援学校を訪問した際、生徒さんたちが音楽を素直に楽しむ姿に感動したことが福祉の仕事に興味をもつきっかけでした。現在は障害者支援施設で、主に知的障害のある方たちの暮らしを支える仕事についていますが、筑紫女学園大学で福祉を専攻し、「福祉の仕事は理想を追求する仕事である」「当事者の最善の利益は

つながるご縁

■短期大学・英文科
二王回生(九九年卒) 岩崎 留里西島



会員の皆様こんにちは。この度、「私と母校とのかかわり」一創立百十周年に向けてというテーマを頂き、筑紫女学園大学と私について振り返ってみました。学生当時のクラスメイトが就職先のなかなか決まらない私を心配し、一枚の募集要項の紙を持ってきてくれました。それがご縁で就職し、仕事先は変わっていますが、現在でも同じ仕事をさせて頂いています。その

筑女と私のかかわり

■短期大学・家政科
一回生(九八年卒) 吉川 志津千穂



筑女と私のかかわりは、短大開設二年目の国文、英文、家政の三科だけだった家政科に入学した日から始まりました。二年間という短い期間ではありましたが、個性豊かな教授の講義は私にはとても新鮮で生き生きと学んだ事を思い出します。好奇心旺盛で多感な時期ですので級友やサークルの仲間との交流や会話の中に色んな刺激を受けて、楽しく幸せな時を過ごして

筑女の繋がり

■短期大学部・現代教養学科
四十回生(二〇三年卒) 中村 彩乃



早いもので卒業して丸五日程経ちます。社会人二年目、当たり前ですが誰も知り合いない場所で働くことに不安を感じていました。そんな私を救ってくれた筑女の繋がりが二つあります。ひとつは筑女出身の同期です。私達は短大卒、大学卒で在学中に接点は無いものの「太宰府駅から学校までのバスで会ったことありますよね」と打ち解けることが出来ました。



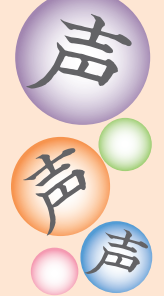
私にひとつの「筑女」
■短期大学部・幼児教育科
四十八回生(二〇四年卒) 宮川 結衣

私は今、幼稚園の先生として毎日楽しく仕事をすることができています。その陰には、友達、家族、そして学校の支えがあったから、今の今だと思っています。正直に言うら、私は筑紫女学園大学に入学するとは思っていませんでした。別の大学を目指していたのですが、残念な結果だったため、筑紫女学園大学を選ばせてもらいました。幼稚園の先生を目指すなら、筑女でも絶対大丈夫！と母から応援され、入学しました。楽しい授業や友達と過ごす時間は、あつという間、二年間の短大生活は楽しく過ぎいきました。その中でもやはり一番つづかたことは、「就職活動です。幼稚園や保育園

紫友35号“こんにちは”の原稿を募集します。



次号のテーマは「学びと出逢い」～創立110周年を迎えて～を予定しています。原稿は400字程度。また、皆様の近況や思い出等お寄せ下さい。(写真やイラストも可)寄せられた原稿は原則として、返却しません。誌面都合上、全てを掲載できない場合もありますので、ご了承下さい。(〆切平成28年12月末日)



は、自分の感じた園の雰囲気や先生たちの様子、園の方針など人それぞれ良いなと思う園は違うので、友達に相談しても、価値観の違いですれ違ふことも多かったです。その中、「番頼り」にしていたのが先生方です。沢山の園の中から私に合う園を見つけて下さり、背中を押してくれました。私がなかなか決断力がなく迷っていたにも、大丈夫と支えてくれました。そのおかげで、番なりだった園の先生になれたと思います。縁あって筑女に入学することができて、今はすごく良かったと思っています。今でも番のりの良い、相談も聞いてくれる友達は、短大時代の友達です。出会ったことに感謝しています。また、入学させてくれた親と一緒に通ってくれた友達、卒業しても支えてくれる友達、先生方など多くの人に支えられて助けてもらった分、自分も何か恩返しができるかなと思っています。今の仕事を笑顔で、楽しくと伝えることが、自分にできる最大の恩返しと思っています。

短大がなくなるのは寂しいですが、筑女は私の大切な場所です。

◆短大が終了するとの事、田舎の高校を卒業して大牟田線に乗り夢膨らませて通学してありました。あれから四十六年過ぎたのです。これからは筑紫女学園短期大学を卒業したことを誇りに過ごしていきたいと思ひます。今後の大学の益々のご発展をお祈りいたします。

◆短大文科科三回生(九九年卒)

◆返却を希望しました卒業が手元に届きました。四十二年間大切に保管して頂いた大学と、返却の窓口となりご尽力くださった先生及びスタッフの皆様深く感謝致します。二十歳の自分と対峙できたよう。学生時代が懐かしいです。

◆短大文科科七回生(九七三年卒)

◆筑女の短大で勉強して楽しみ、友人が出来たことが大切な思い出です。学校のおかげで住友生命に事務職入社で、定年を迎えられたことは幸いです。ホームルームでの橋先生の話が思い出されます。ありがとございました。

◆短大文科科六回生(九七三年卒)

◆総会での講演で橋先生のお名前とお顔を写真で拝見しても懐かしく思ひました。お元気そうでなによりです。当時の先生のユーモアある講義は今でも忘れません。

◆短大文科科二回生(九八三年卒)

◆「今、学生に戻れたら」色々な思いを抱きながら拝読させていただきました。貴重な時間になりました。

◆短大文科科回生(九七七年卒)

◆私も出来ることならもう一度学生に戻って真面目に勉強しなおしたいです。今年から協力費と奨学金基金に協力させて頂こうと思います。筑女のおかげで今の私があるのですから！

◆短大文科科二十回生(九八七年卒)

◆短大文科科三回生(二〇〇三年卒)

◆「紫友」には毎年のように幸せな大学時代を思い出させてもらい、辛いこともあったけど、だからこそ幸せを何倍にも感じる事ができるのだと実感しています。

◆大学英語科十九回生(二〇〇四年卒)

◆「紫友」毎回楽しみにして、読ませて頂いています。「紫友」を読み学生時代を思い出したり、もつと頑張らなければならぬと励まされたら嬉しいです。筑紫女学園で良かったと改めて感じています。

◆短大家政科一回生(九八八年卒)

◆いつもご連絡有難うございます。昨年は統計調査指導員として総務大臣表彰を授与されました。以前は県統計協会会長賞も授与され、総務省に中央研修に一名選ばれ出席しました。何とか頑張っております。

◆短大家政科一回生(九八八年卒)

◆短期大学の募集停止に賛成です。二年間ではゆっくり考える時間も少なく、専攻以外のことを勉強する時間も取れなく、物足りなさが残りました。東京とその周辺では以前から短期大学は廃止されているところが多いようです。

◆短大家政科十二回生(九八八年卒)

◆現在英語学科へ通う娘が今年二月に印度研修旅行に参加しました。我々の頃とは違い女性も積極的に関外に出る時代、娘が生きていき輝いて見えます。女性教育を重んじる筑女に入学させて良かったと思います。

◆短大家政科十六回生(九八八年卒)

◆昨年二十年ぶりにクラスメイトに会いまして。二年間寮暮らしで同じ釜の飯を食べた仲間です。二十年のブランクを感じないくらい楽しい時間を過ごしました。

◆短大幼児教育科十五回生(二〇〇八年卒)

◆一男二女の育ててもひと段落。今年四月より公立の保育園でフルタイムの非常勤保育士として採用されました。二十代の当時と比べれば体力や記憶力などは落ちているのかも。でも自分の子育ての経験や社会人としては負けないつもりです。

◆短大幼児教育科十八回生(九八四年卒)

◆地元にいればまた母校で学んでみたいなどと思ひながら読んでおります。

◆短大幼児教育科二十回生(九八六年卒)

◆この度の改組にて短大がなくなるのは大変寂しいですが、短大で学び得た事、そして先生方や友人達との思い出は消えることはありません。

◆短大幼児教育科十七回生(九九年卒)

◆時代の変化と共に大学の在り方も変わっていくのだと感じますが、筑女の精神はいつまでも変わらないで欲しいと願っています。

◆短大幼児教育科二十回生(九九年卒)

学園だより

学園ホームページhttp://www.chikushi.ac.jp

図書館課

図書館ホームページアドレス
http://www.lib.chikushi-u.ac.jp/

卒業生の皆様も図書館の本の利用ができます。
「図書館利用者証」を発行しますので、身分証明書(運転免許証、健康保険証など)をご持参ください。

なお、開館日・利用時間は**本学図書館ホームページカレンダーにてご確認ください。**

■開館日・利用時間・【原則】平 日 9:00～19:30
土曜日 9:00～14:00(原則第2・4土曜)
※学校行事や定期試験・休暇中など開館日・開館時間が変更になることがあります。
※来館前にお問い合わせ・お確かめのうえお越しください。

■利用者証発行手数料・400円(4年間有効)
※1号館1階の証紙券売機で証紙をお買い求めの上、8号館図書館カウンターで手続きください。

■貸出冊数・貸出期間・3冊以内 (15日間)

教務課

【お問い合わせ先】教務課 TEL092(925)3514

卒業証明書・成績証明書等の申込みを受け付けています。申込の詳細は本学園ホームページ「卒業生の方へ」にてご案内しています。

- ※ 学力に関する証明書など特別な証明書は発行に2週間程度かかります。早めのお問い合わせをお願いします。
 - ※ 夏季休業：8月11日(木)～16日(火)
 - ※ 年末受付：～12月27日(火)
 - ※ 年始受付：1月11日(水)～
- ※その他、平日の休業日についてはホームページでご案内しています。

実習支援センター

●教員免許状更新講習のご案内

幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教員を対象とした講習を実施しています。詳細は、6月頃本学ホームページに掲載いたしますので、ご確認ください。

●大震災の被災地における学生ボランティア活動についてのご案内(東日本・ネパール)

実習支援センターでは、関係部署と連携しながら東日本とネパール(本学と繋がり深い国)の被災地における学生のボランティア活動に係る支援を行っています。ネパールの被災地においては、2月12日～26日に学生8名と先生1名が初めて訪問し、子ども達に文房具配付の教育支援や今後の活動に係る現地調査を行ってしました。

今後も継続して活動していきますので、同窓生からの温かなご支援を何卒よろしく願います。

ネパール
筑紫女学大学「ネパール大震災復興教育支援募金」

金融機関：福岡銀行

支 店 名：太宰府支店

預金種目：普通預金

口座番号：1255863

口座名義：筑紫ネパール募金

【お問い合わせ先】実習支援センター TEL092(925)9578

※お振込みの前に上記問い合わせ先にご一報いただくと幸いです

卒業生のための学びのかたち

●大学院 人間科学研究科 人間科学専攻 修士課程(男女共修)
時代が求める総合力 一高度な知識と実践的応用力の育成

- ※卒業生だけの優遇制度※
- 短期大学卒業後も卒業後、2年以上の社会経験がある方は、出願可能です。学びを深めるチャンスが広がります。
- 本学卒業生(大学・短期大学部)には、大学院の入学金相当額を給付します。経済的な負担を軽減できます。(筑紫女学大学大学院進学奨励金)

●社会人特別入学試験
学ぶ意欲のある社会人を受け入れる制度です。正規学生として深く専門的に学びたいという気持ちに応えます。

●編入学試験 短期大学・大学を卒業された方等を対象とし、3年次に編入する制度です。
※出願はインターネットで受け付けております。
入試要項等は本学ホームページにてご確認ください。
【お問い合わせ先】入試課 TEL 092(925)3591

●科目等履修生・聴講生受け入れ制度
興味のある科目を受講し、単位認定される「科目等履修生制度」、単位の修得を希望しない「聴講生制度」があります。生涯学習の場として、学び気持ちを支援します。

【お問い合わせ先】教務課 TEL 092(925)3514

●仏教専修課程・浄土真宗本願寺派教師(住職)資格課程
福祉・家族いのちの問題について考えたい、仏教の思想・文化・美術に関心がある方のために「仏教専修課程」を設けています。さらに「浄土真宗本願寺派教師(住職)資格課程」を履修されると、教師教修所への入所資格が得られます。
【お問い合わせ先】学生課 TEL092(925)3515

社会に出て新たに学びたい、改めて学びたいという気持ちにお応えしたいと思っています。ぜひお問い合わせください。

進路支援課

天神キャリアセンター

- 卒業生と在学生の就職活動をサポートします
 - 進路選択のプロがキャリア形成をバックアップします
 - 臨床心理士が就職活動中のメンタル面のケアもします
- 【場 所】福岡市中央区天神1-15-6
綾杉ビル7階(アクロス福岡前)
- 【業務時間】月曜日～金曜日
10時～18時(祝休日を除く)
- 【お問い合わせ先】天神キャリアセンター TEL092(715)0340

☆大学・短大主な内定先一覧 (平成27年度 順不同)

●一般企業		
三井住友銀行	西日本シティT証券	九州三菱自動車販売
みずほフィナンシャルグループ	オリエントコーポレーション	トヨタカローラ博多
東海東京フィナンシャルホールディングス	楽天カード	トヨタカローラ福岡
福岡銀行	ワイジェイカード	久原本家
西日本シティ銀行	日本郵政グループ	日本通運
佐賀銀行	JAグループ	西鉄ホテルズ
山口フィナンシャルグループ	全日本空輸	エイチ・アイ・エス
大分銀行	ANAエアポートサービス	ジェイティービー九州
十八銀行	ANAウイングス	岩谷産業
福岡信用金庫	ANA福岡空港	長府製作所
福岡中央銀行	JALスカイ九州	福岡空港ビルディング
楽天銀行	JALスカイ那覇	マイナビ
野村證券	楽天	ヤマエ久野
みずほ証券	アイ・ケー・ケー	USEN
ふくおか証券	福岡九州クボタ	ワコール

●教員・公務員		
自衛隊	福岡市小学校教員	福岡県職員
福岡県中学校教員	佐賀県小学校教員	
福岡県小学校教員	山口県小学校教員	

●医療・福祉関係		
飯塚病院	久留米天使園	玄洋会
慈愛会	ラポール有田	福岡市身体障害者福祉協会
筑後いずみ園	ケアステーションあけぼの	北九州身体障害者福祉事業協会

●専門職(幼稚園・保育園)		
飯倉幼稚園	五十川保育園	光が丘幼稚園
内浜保育園	山王幼稚園	ふたば幼稚園
えんぜる保育園	玉川保育園	布津原幼稚園
小浜・日の出保育所	第二白梅学園	美和台幼稚園
乙金保育園	筑紫女学大学短期大学部附属幼稚園	三葉幼稚園
オリブ保育園	筑水学園	御笠学園
おおぞの保育園	鳥栖ルンビニ幼稚園	紅葉幼稚園
光和保育園	長丘幼稚園	元岡幼稚園
古処学園	博多学園	森の木幼稚園

※ほか、多数(紙面都合上、一部掲載)

紫友会から在学生へ

～「就職情報誌 avenir」贈呈～

紫友会では、在学生への支援活動の一つとして、冊子「**avenir**」を、毎年発行しています。これから就職活動を控えた大学3年生全員に配布されます。

就職活動を体験した先輩が、現役の後輩学生へ贈る細かな情報は、思い描く未来の実現に必要な「宝物」となっています。

業種別採用試験の報告書や過去5年間の就職先一覧など、盛りだくさんの内容は、今年も学生の就職活動に大いに活用されています。

平成27年11月1日(日)
保護者も参加しての就職ガイダンスにて

計報 大村 英昭 学長 平成27年 9月(大学 学長)
冷川 昌彦 先生 平成27年 9月(元短期大学部 幼児教育科 特任教授)
永澤 二郎 先生 平成27年10月(元大学文学部 英語学科 教授)

紫友会学生支援奨学金・奨励金基金へのご協力をお願い

奨学金を受給して

文学部 英語メディア学科
二十一回生(二〇一四年卒)

今春、私は社会人生活2年目を迎えます。在学時には、就職し今日のような充実した日々を思い、学業に励んでいました。

私が中学生の頃、父が大病を患い、以前のように働くことが出来なくなりました。どうしても大学で勉強したかった私は、少しでも家計の負担を軽減する為アルバイトをしながら大学卒業を目指しました。しかし、就職活動が始まると、アルバイトに行く時間が減り、家計を圧迫しました。

そんな時に、この奨学金を給付して頂き、妥協せず就職活動に取り組むことが出来、無事に大学を卒業出来ました。今後の人生を左右する就職活動の時に紫友会奨学金をご支援頂けたことで、ずいぶん頑張りたい」と思える職場に巡り会え、今の私があります。

その節は奨学金を給付して頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。これからこの奨学金により、学生の笑顔が増える事を願っています。

紫友会学生支援奨励金を2団体へ授与

～合気道部～
発足37周年を迎える歴史ある部活動です。今後も日々の稽古に励み大会目指して頑張ります。

～バスケットボール部～
今年は部員も増え、少しずつ結果を残せるようになりましした。バスケ部での活動を通して、たくさんの事を学んでいます。

合気道部 バスケットボール部

平成27年6月及び12月に紫友会奨励金の授与式が紫友会室にて執り行われました。

この奨励金はクラブ、サークル活動、ボランティア活動など自主的な活動において高い目標、計画を持ち積極的に活動、実現している団体、個人を援助することを目的としています。

奨学金、奨励金を少しでも多くの支援を必要とする学生に援助が出来ればと願っております。会員の皆様には引き続き奨学金・奨励金基金充実の為に、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

同封の振込用紙「奨学金・奨励金基金」の項目に〇印を付け、郵便振替にてご送金下さい。

大学クラブ訪問 合気道部

「相手の力を感じて…。自分の呼吸力を利用して…。合気道は勝敗のつく競技とは違い、自分と向き合い、相手のことを考えながら、力だけでなく、呼吸力を利用して自分よりも大きな相手を倒すことができます。また、性別や年齢、国籍の枠を越えた交流もあり、何十年と合気道をされている方から技に関すること、人としての生き方を学び、生活の知恵、文化、礼儀など様々なことを身につけることができます。このような合気道の魅力に惹かれ集まった私たち

株式会社JTB九州 福岡教育旅行センター
井口 久美子
(文学部 英語学科 二十一回生)

私の所属する福岡教育旅行センターでは、中学校、高校、大学など教育事業をメインターゲットに営業活動を行っています。

最も大きな仕事は修学旅行です。学校に営業を行って、先生方との信頼関係を築いていきます。修学旅行の企画、打ち合わせを行い、当日は添乗員として同行します。修学旅行が無事に終わって先生から「ありがとうございました」と言われる時に達成感を感じます。その他にも学校行事の語学研修、遠足のバスの手配、また部活動の遠征や先生方のご出張など多岐に渡って業務を行っています。母校である筑紫女学大学も大切です。

JTB九州 福岡支店

左：井口 久美子(2012年卒 英語学科21回生)
右：水上 沙紀(2012年卒 現代教養学科46回生)

なおお客様です。
学生さん達を見ると、楽しかった大学時代を思い出します。大学時代は母校に仕事で行けるなんて考えてもなかったのですがとても嬉しく思います。これから人と人との繋がりを大切にして、JTBスローガン「感動のそばに、いつも」を心がけて業務に励んでいきたいと思います。

合気道部は、他大学との合同稽古や町道場での稽古に参加し、様々な年代の方との交流を通して、技の向上とともに、自分の内面も磨いていきます。毎年十一月下旬には、二年間の稽古の成果を発揮する場である演武会も行っています。さらに、昨年は紫友会奨励金をいただいたことで、より多くの稽古に参加することができ、日々の努力が認められ、初めて全日本合気道演武大会に出場する機会を得られました。誠にありがとうございました。

まだまだ、合気道の認知度は低くありますが、これからも多くの方に合気道の魅力を知ってもらえるよう努力していきます。今後とも宜しくお願い致します。

2016(平成28)年度 前期 筑紫女学大学 公開講座(受講料無料)

“ともいき(共生)”～あらゆる存在とのつながりの中で生かされていることへの目覚め～

講座名		講師等	日時	講座名		講師等	日時
体験講座	音楽と自然によるともいき～ガムラン・ワークショップと“筑女の森”自然観察～	田村史子(文学部准教授) 田中一男(地域環境計画九州支社)サプトノ (インドネシア、ジャワ、スカルト王家ガムラン楽長) 主催：アジア文化学科	① 5月15日(日) ② 6月19日(日) 10:00～15:30 (12:00～13:30休息)	体験講座	親子で楽しむ「表現遊び」	吉川暢子(人間科学部講師) 田中るみこ (中村学園大学助手・臨床心理士)	① 6月26日(日) ② 7月10日(日) ③ 7月24日(日) 10:00～13:00 (全3回)
	イヌと幸せに暮らす方法入門	福島みゆき (犬のしつけインストラクター) 後藤 治(獣医師) 佐々木 浩(現代社会学部教授)	① 5月14日(土) ② 5月21日(土) 9:30～12:30 (全2回)		ドキュメンタリー映画「花の夢～ある中国残留婦人～」上映と監督トーク	東 志津(ドキュメンタリー映画監督)	7月9日(土) ①10:30～12:30 ②13:30～15:30
公開講座	気になる子の理解と支援 ①ことば ②行動 ③対人関係	酒井 均(人間科学部教授) 主催：人間科学科人間関係専攻	① 5月14日(土) ② 6月11日(土) ③ 7月16日(土) 14:00～16:30	公開講座	体験しよう！教育・保育の実際 ①考えてみよう！子どもと「メディア」との関係を ②おとも子どももレッツエクササイズ！ ③小学生でもできるアクティブラーニング	①原廣一郎(人間科学部准教授) ②古田瑞穂(人間科学部教授) ③石原 努(人間科学部准教授) 主催：人間科学科人間形成専攻	① 9月 3日(土) ② 9月10日(土) ③ 9月17日(土) 10:00～12:00
	第19回 仏教文化講座「[歎異抄]に学ぶ」 ①第1条 弥陀の誓願不思議 ②第2条 地獄一定すみか ③第3条 悪人正機 ④第4条 浄土の慈悲 ⑤第5条 一切の有情は世々生々の兄弟	①栗山俊之(現代社会学部教授) ②中川正法(人間科学部教授) ③宇野智行(文学部教授) ④小林久泰(文学部准教授) ⑤宇治和貴(人間科学部講師) 主催：仏教研究室	① 6月 1日(水) ② 6月 8日(水) ③ 6月15日(水) ④ 6月22日(水) ⑤ 7月 6日(水) 19:00～20:30		日本語ライティング講座 ～伝わる書き方～	中川 茂 (前西日本新聞社特別論説委員・TNC報道番組顧問コメンテーター) 小野 望(文学部教授) 高山百合子(文学部教授) 主催：日本語・日本文学科	① 9月17日(土) ② 9月24日(土) ③ 10月1日(土) 13:00～15:00 (全3回)
				九州ユース合唱団演奏会 ～ともに生き、ともに歌う～		松原千振 (東京聴覚合唱団指揮者、元フジテレビ放送室内合唱団指揮者) 今登 亮(人間科学部講師)	9月19日(月・祝) 14:00～16:00

生涯学習センター
筑紫女学大学ホームページ>>> http://www.chikushi-u.ac.jp/
お申込み・お問合せ 〒818-0192 福岡県大宰府市石坂2丁目1-1
TEL: (092)925-9685 FAX: (092)925-8319
E-mail: gakushu@chikushi-u.ac.jp

■お申込み方法
ハガキ・FAX・Eメールまたは本学ホームページより
※お申し込みの際は、①受講希望講座名②氏名(フリガナ)③郵便番号④住所⑤電話番号・FAX番号をご記入ください。
※定員に達した場合は、締切となりますのでご了承下さい。
※お預かりした個人情報は適切に管理し、公開講座運営以外に使用することはありません。

